

第3回ワークショップの開催概要「人々が憩い、賑わう魅力的な屋外空間を考えよう」

開催日時 令和5年 10月 29日（日） 10：00～12：00

開催場所 逗子市商工会館

第3回ワークショップの流れ

1. 挨拶・第2回ワークショップの振り返り
2. 検討目的・検討の視点の説明
3. 屋外空間の緑のあり方について
4. 事例紹介
5. 検討内容の説明
6. 検討作業：「屋外空間の使い方を考えよう」
7. 発表
8. 今後の検討スケジュール・挨拶



【参加者の概要】（）内は関東学院大学の学生

男性16（3）名 女性10（1）名 合計26（4）名

【タイムスケジュール】

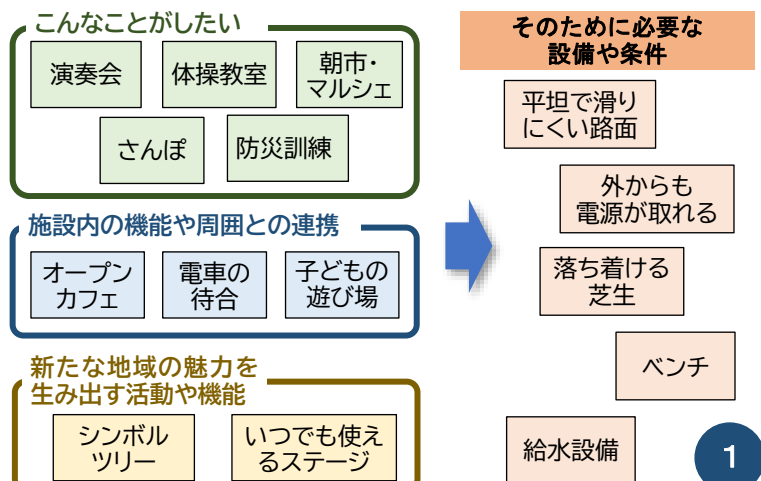
プログラム	タイムスケジュール
① 挨拶・第2回 WS の振り返り	10：00～10：10
② 検討目的・検討の視点の説明	10：10～10：15
③ 屋外空間の緑のあり方について	10：15～10：25
④ 事例紹介	10：25～10：35
⑤ 検討内容の説明	10：35～10：40
⑥ 検討作業	10：40～11：20
⑦ 発表	11：20～11：55
⑧ 今後の検討スケジュール・挨拶	11：55～12：00



第3回ワークショップの概要

第3回ワークショップは、26名（うち関東学院大学の学生4名）の方に参加いただき、前2回と同様に6つのグループに分かれて、グループディスカッション形式で実施しました。

第3回ワークショップでは、複合施設とともに新たに整備する屋外空間（広場）の活用方法について検討していただきました。



検討作業 屋外空間の使い方を考えよう

① 屋外空間でどんな活動がしたいか

屋外空間でどんな活動をしたいか意見を出し合いました。

日常的な活動として、休憩やおしゃべり、食事、子育てや子供の遊び場、運動や健康に関する活動、自然とのふれあいなどをしたいという意見がありました。

非日常的（イベントなど）な活動として、朝市やマルシェ、祭りや音楽ライブなどを継続して開催するほか、ワークショップなどを新たに開催したいという意見がありました。

	屋外空間でしたいことや賑わいにつながる活動など	そのために必要な設備や条件
① 屋外空間でしたい活動	《日常的な活動》 ● 休憩やおしゃべり ・風通しがよい日陰で休憩したい ・天気の良い日はハンモックで休める ・地べたに座って話をしたい ● 食事 ・お話ししながら、お弁当を食べたりしたい ・キッチンカーに来て欲しい ・カフェが欲しい ● 子育てや子どもの遊び場 ・小さな子どもが自然に触れられる場所が欲しい ・子どもが安全に走り回ることができ、ボール遊び、木登りなどができるようにしたい。 ・子どもが遊べる遊具や砂場などがあるとよい ・暑い日でも活動できるように日影がほしい ● 運動や健康に関する活動 ・ラジオ体操や散歩がしたい ・裸足で走り回れるといい ・球技（バスケ、フットサル、テニスなど）がしたい ● 自然とのふれあい ・自然を楽しみたい ・ボランティアの活動として花壇等が欲しい	○休憩やおしゃべり ○食事 ・雨や日差しを防ぐ大屋根やピロティ、展開式のひさしなど ・テーブル、いす、ベンチ、くつろぎスペース、ハンモックなど ・設備は可動式で自由に移動できると良い ・芝生の広場や小路
	● 子育てや子どもの遊び場 ・小さな子どもが自然に触れられる場所が欲しい ・子どもが安全に走り回ることができ、ボール遊び、木登りなどができるようにしたい。 ・子どもが遊べる遊具や砂場などがあるとよい ・暑い日でも活動できるように日影がほしい	○子育てや子供の遊び場 ・じゃぶじゃぶ池、砂場 ・印象的な遊具 ・芝生の広場や緑のある空間 ・水はけがよい地面 ・手洗いができる水道
	● 運動や健康に関する活動 ・ラジオ体操や散歩がしたい ・裸足で走り回れるといい ・球技（バスケ、フットサル、テニスなど）がしたい	○運動や健康に関する活動 ・鉄棒や健康遊具 ・運動設備
	● 自然とのふれあい ・自然を楽しみたい ・ボランティアの活動として花壇等が欲しい	○自然とのふれあい ・花壇の整備、桜の木を植える ・既存樹木を残すか、それに代わる木を植える
	《非日常的な活動（イベントなど）》 ● 朝市・マルシェ ・朝市は継続して周辺市その他多くの方に来てほしい ・朝市以外にも市場やバザー、マルシェなど、そこに行くとは何かが見つけられるイベント ● お祭り ・盆踊りや縁日で、多世代が集うお祭りをしたい ● 音楽イベント ・沖縄ライブなど音響を使ったステージイベント、コンサートがしたい。複数の団体が出やすい形がいい ● その他イベント ・開けた場所でみんな参加できるワークショップ ・障がい者の方も発表できる場、サークル活動	○イベントなどの活動 ・新しいステージ広場（可動式のステージ、ウッドデッキ、音響設備、夜間はライトを使える） ・雨や日差しを防ぐ屋根 ・イベント時に使いやすいトイレ ・イベント時に使える屋外電源供給設備や倉庫（テント等を格納） ・キッチンカーが入れるように停車しやすい路面を整備

※各グループの意見を集約してまとめているため、一部表現が変わっているものがあります。

② 複合施設の導入機能や周囲と連携した使い方としてどんなものがあるか

複合施設の導入機能と連携した使い方としては、施設内のオープンスペースと一体となった屋外イベントの実施や、カフェと連携した屋外休憩スペースの整備などの意見がありました。

また、周囲との連携については、電車の待ち合わせ場所としての活用や、JR 東逗子駅から連続した動線の確保について意見がありました。

	屋外空間でしたいことや賑わいにつながる活動など	そのために必要な設備や条件
② 複合施設の導入機能や周囲と連携した使い方	《施設と連携した使い方》 <ul style="list-style-type: none"> イベント時には広場と施設1階のオープンスペースを連続して使いたい 屋内のカフェスペースと連携し、屋外の休憩スペースをテラス席のように使いたい 施設に入りやすい雰囲気にするため広場の入り口を広くしたい 	○施設と連携した使い方 <ul style="list-style-type: none"> 施設の壁をスクリーンとして活用 屋外空間と一体的につかえるように大開口の出入り口や建屋から張り出した屋根 施設に入りやすいが、屋外空間の活動を阻害しない駐車場
	《駅との連携》 <ul style="list-style-type: none"> 駅前の施設として電車の待合場所としたい 駅と連続した動線を確保して、一体化 	○駅との連携 <ul style="list-style-type: none"> 日陰のベンチ、オープンカフェ 屋外空間と駅の改札口を接続
	《その他周囲との連携》 <ul style="list-style-type: none"> 介護タクシーの乗り入れや保育園、幼稚園バスのスペースが欲しい 巡回するマイクロバスの導入 乗用車の乗り合いシステムの構築 	○その他周囲との連携 <ul style="list-style-type: none"> 自動車が侵入できる路面や、駐車場、送迎スペース

※各グループの意見を集約してまとめているため、一部表現が変わっているものがあります。

③ 新たな地域の魅力を生み出す活動や機能（設備）としてどんなものがあるか

新たな地域の魅力を生み出す活動や機能として、様々なイベントの開催や、駅から見える広場の景色を魅力的なものとし、立ち寄りたくなるような景観づくりが必要との意見がありました。

また、現在のふれあい広場にある樹木については、残したいという意見や、整備のためにやむなく伐採した場合でも、現在行っている冬季のイルミネーションなどが継続できるように、新しくシンボルになる樹木が必要という意見がありました。

	屋外空間でしたいことや賑わいにつながる活動・そのために必要な設備や条件
生み出す活動や機能（設備） ③ 新たな地域の魅力	<ul style="list-style-type: none"> 駅から見える広場の風景を大切に、立ち寄りたくなる景観づくりが必要 既存の樹木をなるべく残したい。樹木を残さない場合でも、新たなシンボルツリーは必要 イルミネーションや朝市などのイベントを継続したい 季節のお祭り、イベントなど誰でも来られる催し物の実施 人とのつながり、交流が見えることが魅力につながる。子どもと高齢者をつなぐワークショップの開催など 駅前の待ち合わせ場所としてオープンカフェがあると良い シンボリックなものは施設の内外で展開すべき ハイキングやサイクリングの集合場所や拠点としての活用

※各グループの意見を集約してまとめているため、一部表現が変わっているものがあります。